



志雲会資料  
令和2年7月26日

「日本共産党はどうして選挙で  
毎回500万票を見込めるのか」

八十嶋 勇浩

いまこそ **現実と希望を**

海外で武力行使、大増税、ブラック企業... どうなる日本。

**基礎票(固定票) =**

**赤旗の購読者 × 2 ~ 3人**



政治経済 社会 国際

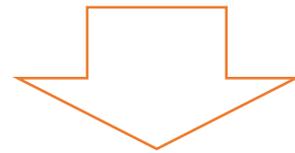
2011年4月21日(金)

- 【政治・経済】「海外で武力行使」... 首相の「強硬」発言に、野党は「慎重」を主張
- 【社会】「ブラック企業」... 労働組合が「改善」を求め、政府は「規制」を強化
- 【国際】「大増税」... 国民が「負担」を軽減し、経済を活性化

購読 申し込み

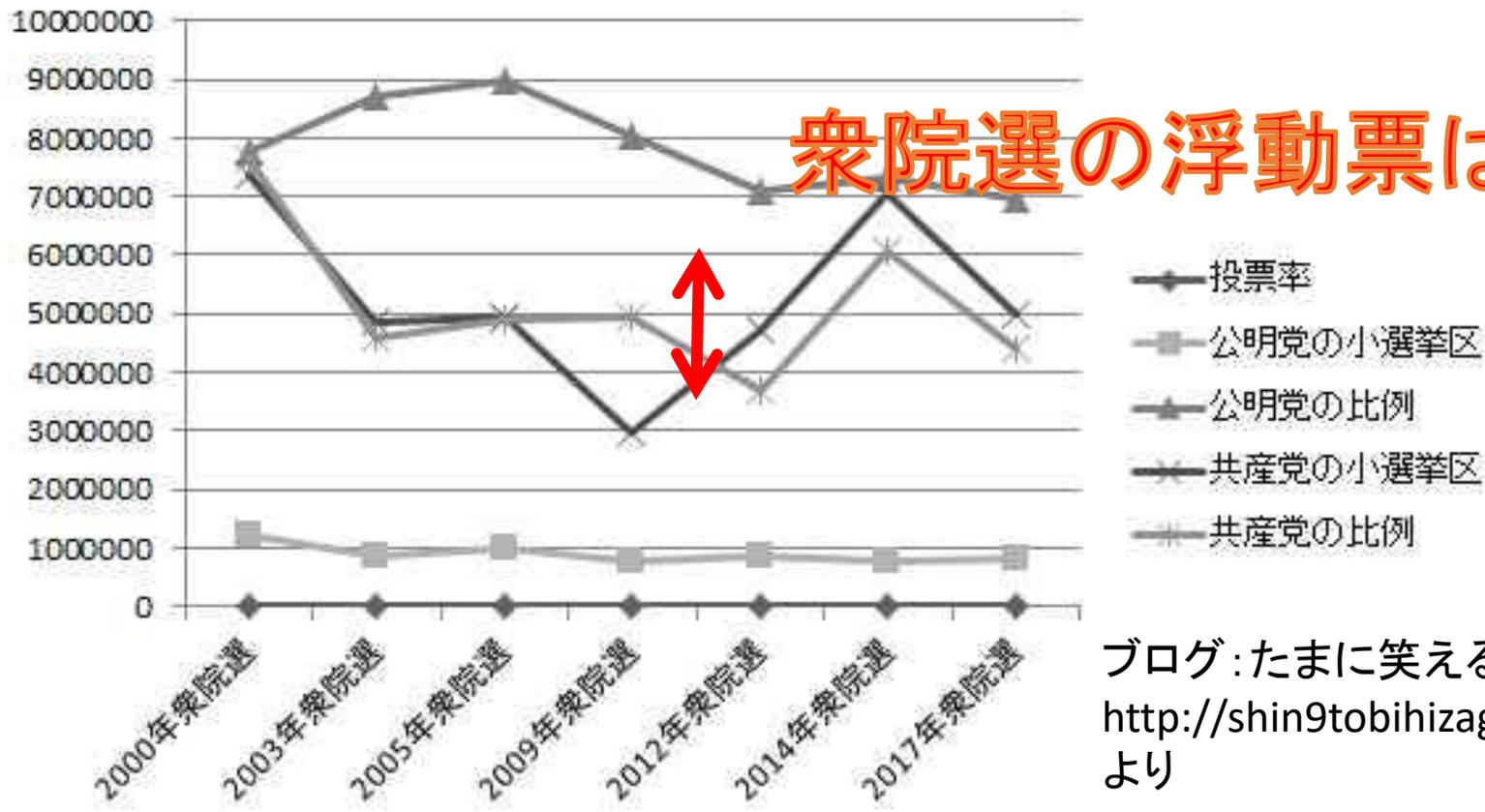
赤旗の日曜版

固定票 = 得票数 - 浮動票



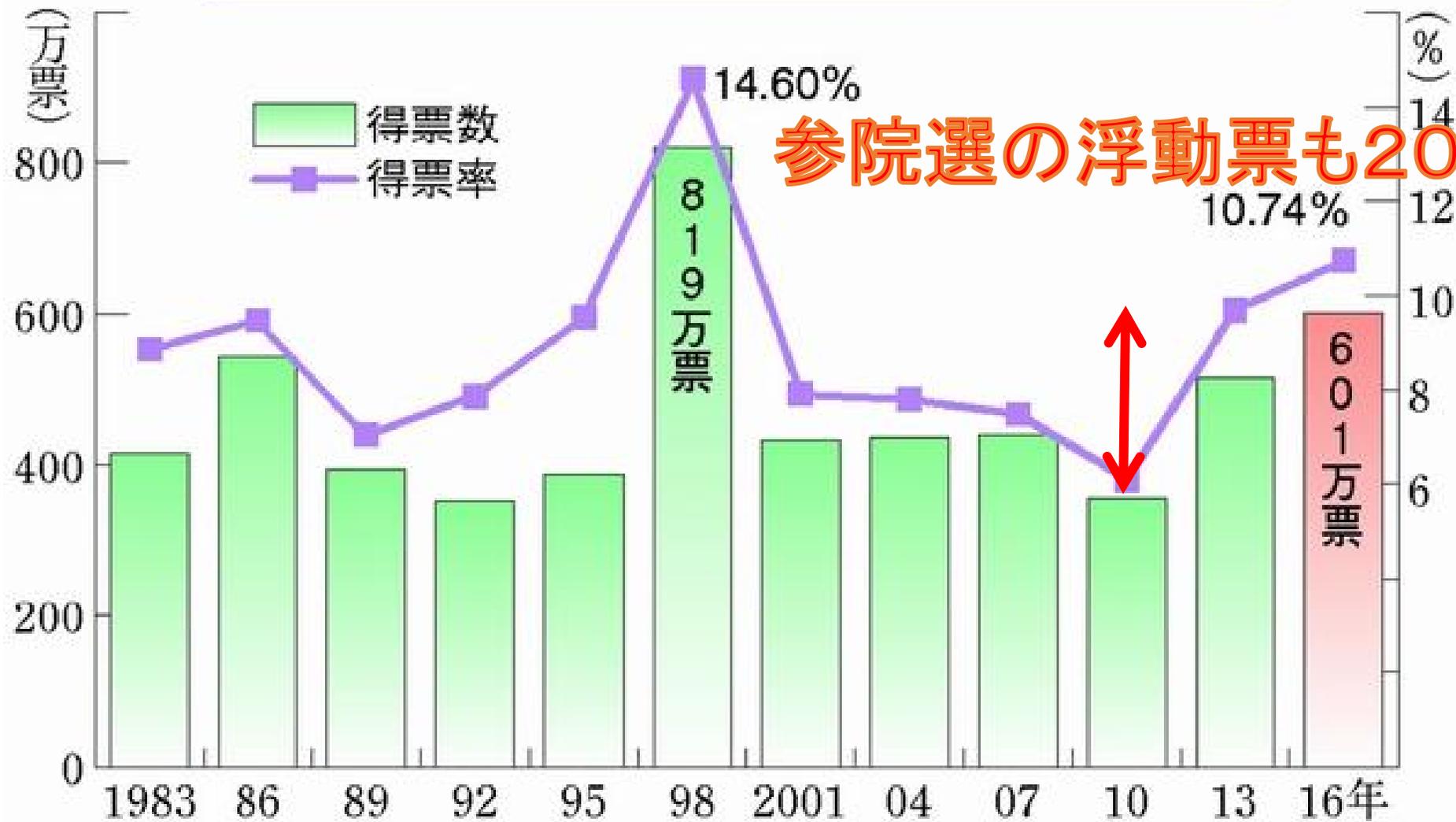
過去の国政選挙から固定票を推測してみる

	投票率	公明党の小選挙区	公明党の比例	共産党の小選挙区	共産党の比例
2000年衆院選	64.45	1231753	7762032	7352844	7619016
2003年衆院選	59.86	886507	8733444	4837952	4586172
2005年衆院選	67.51	981105	8987620	4937375	4919187
2009年衆院選	69.28	782984	8054007	2978354	4943886
2012年衆院選	59.32	884881	7116474	4700289	3689159
2014年衆院選	52.66	765390	7314236	7040169	6062962
2017年衆院選	53.68	832453	6977712	4998932	4404081



ブログ:たまに笑えるワンクッション  
<http://shin9tobihizageri.seesaa.net/article/454526328.html>  
より

# 参院選比例代表の日本共産党の得票・率の推移



参院選の浮動票も200万票程度？

しんぶん赤旗HP2016年7月31日分より

日本共産党の10年前の  
固定票は350万票程度か？

「選挙における共産党の基礎票は言うまでもなく、党員と「赤旗」購読者である。  
(中略)

「赤旗」一部に対する基礎票を何票と計算するかは難しい問題ではあるが、  
筆者は**大体2票程度**と見たい。」(田口富久治)

「これまでの選挙からみて、「赤旗」**1部につき支持票3票近く**になるらしいが……」  
(相原茂)

サンケイ新聞社出版局「日本共産党のすべて」(昭和48年発行)  
「徹底分析共産党を支持した550万票」より

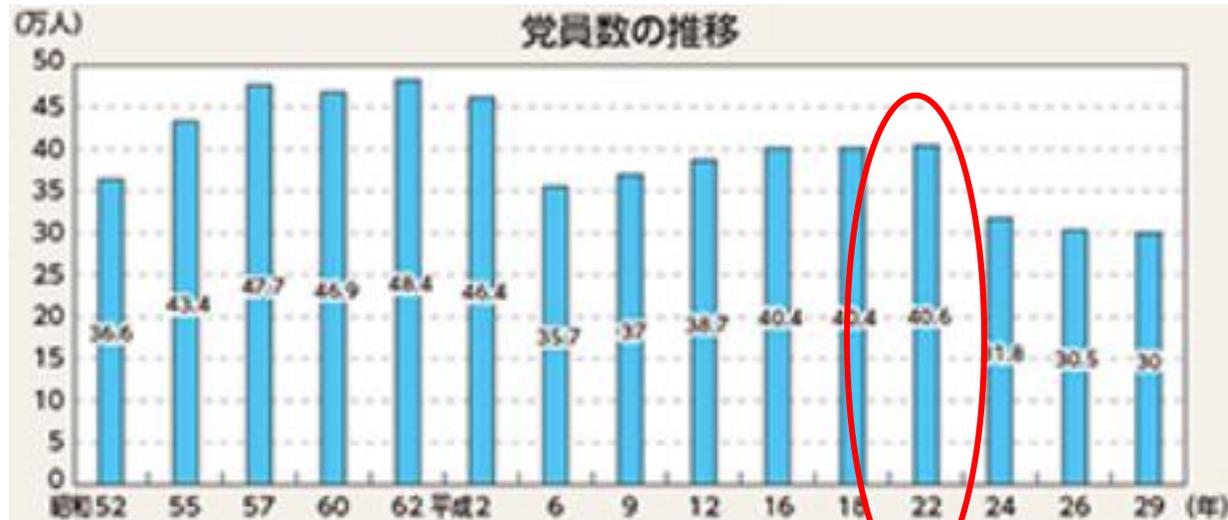
基礎票 =

赤旗の購読者 × 2 ~ 3人

翌々年(2012年)衆院選比例獲得票数:約370万票  
当年(2010年)参院選比例獲得票数:約356万票

平成22(2010)年の党員数:40万6千人  
しんぶん赤旗購読者数:145万4千人

警察白書平成30年版より



10年前の固定票 ÷ 赤旗購読者数 × 2.5

赤旗を購読するきっかけ：外部団体

民商（民主商工会）

民医連

新日本婦人の会

# 民商：税金が安くなるという実利

- 会員数約30万人
- 確定申告の時期に集団申告
- 税金の説明会・帳簿のつけ方教室
- 法律相談、保険の事務手続き
- レクリエーション



# 民医連 自民党支持者ですら お気に入りの良心的な病院・診療所

事業所数:1, 178

職員数8万2,807名の日本最大規模の医療機関関係組織  
(病床数は24,806床で、日本赤十字社、厚生連、に次いで3位。)



# 新日本婦人の会

## サークル活動

### ジェンダー平等

### ピース&デモクラシー

発起人：  
平塚らいてう、いわさきちひろ、壺井栄、  
野上弥生子、羽仁説子、岸輝子ら



共産党色を消して、  
「反戦」「平和」「ジェンダーフリー」  
という単語に騙されやすい層を  
取り込んできた

# 赤旗は危機的な減少に追い込まれている

その日刊紙・日曜版の読者が8月1日の申請で**100万を割る**という重大な事態に直面し、この後退が「しんぶん赤旗」発行の危機をまねていることです。そして、「しんぶん赤旗」の事業は党の財政収入の9割をしめるという決定的な役割を担っています。「しんぶん赤旗」の危機は、党財政の困難の増大そのものです。

しんぶん赤旗HP

「しんぶん赤旗」と党の財政を守るために

2019年8月28日 財務・業務委員会責任者 岩井鐵也  
より

党员でも、読者でも、わが党の党勢は、1980年ごろをピークにして、残念ながら長期にわたって後退傾向が続いてきました。

党员は、50万人近くから、現時点は**約28万人**です。「しんぶん赤旗」読者は、

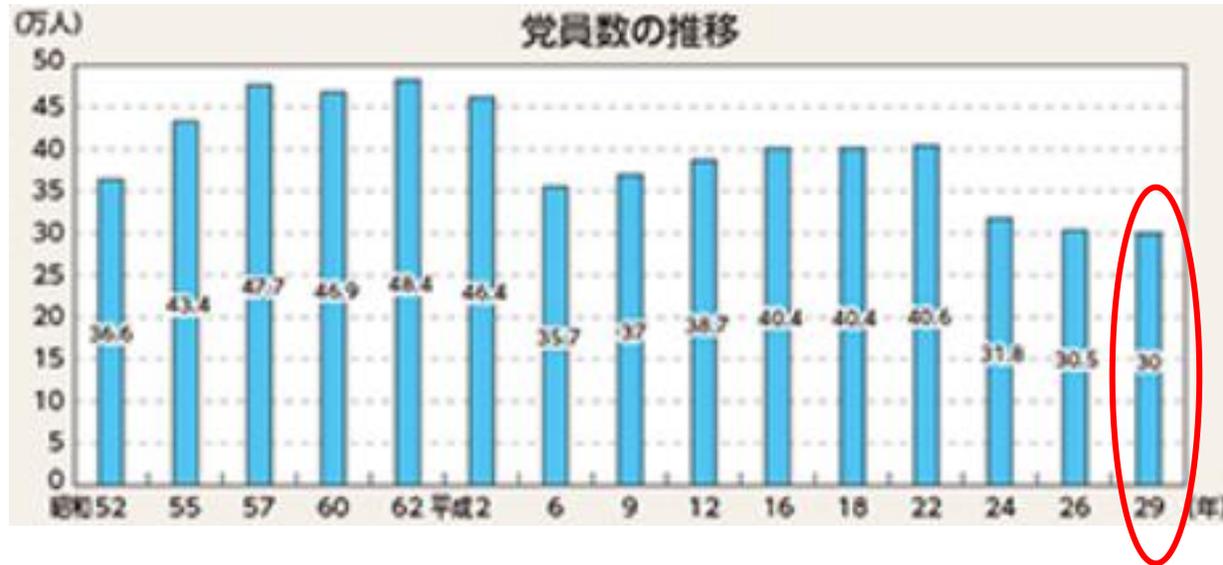
1980年のピークは355万人でしたが、現時点は**100万人を割っています**。

第7回中央委員会総会  
志位委員長のあいさつ

しんぶん赤旗HP2019年9月16日より

現在の党員数：30万人弱

しんぶん赤旗購読者数：100万人弱

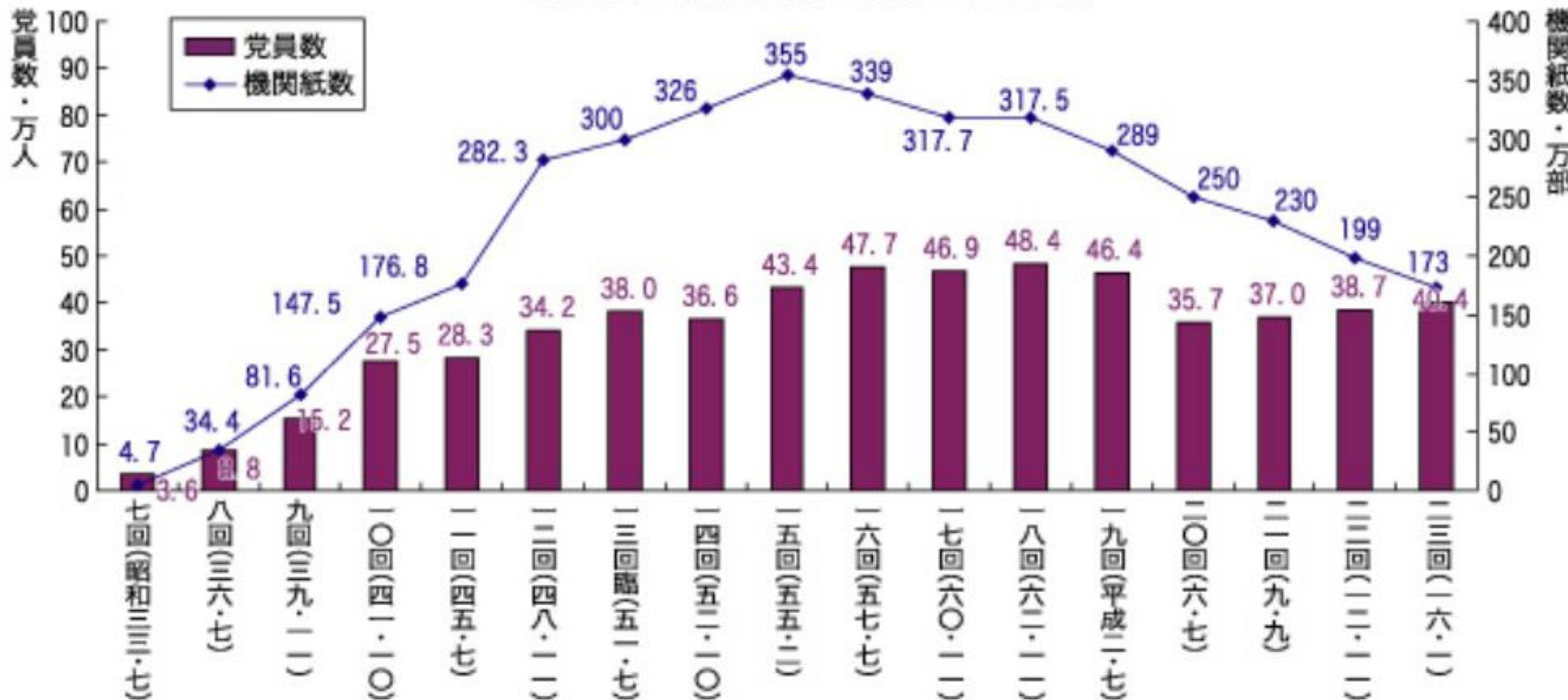


警察白書平成30年版より

現在の推定固定票は  
200万から300万票か？

日本共産党の今の固定票は  
200万～300万票程度か？

# 党員数、機関紙数の推移（大会毎）



宮地健一氏HPより <http://www2s.biglobe.ne.jp/~mike/togi2017.htm>

# 支持者を目覚めさせるにはどうしたらよいか？

カルトの洗脳を解くのと似ている

迫害は当人の信念を強固にしてしまう。

「革命の闘士」

ある種の陶酔感・快感

# 組織への疑念の種を蒔くほうが効果的

キリスト教にとって背教者からの疑念は脅威だった。

「あなたがたのところに来る人で、この教えを持って来ない者は、家に受け入れてはいけません。その人にあいさつのことばをかけてもいけません。そういう人にあいさつすれば、その悪い行ないをともにすることになります。」(ヨハネからの第二の手紙1:9,10)

# 党中央や最高幹部への疑念を 持たせる事実を提示する

政党助成金制度最初に提唱したのは「日本人民共和国憲法」第9条

「日本人民共和国憲法」第5条では集団的安全保障を認めていた

第五条 日本人民共和国はすべての平和愛好諸国と緊密に協力し、民主主義的**国際平和機構に参加**し、どんな侵略戦争をも支持せず、またこれに参加しない。

第九条 人民は民主主義的な一切の言論、出版、集合、結社の自由をもち、労働争議および示威行進の完全な自由を認められる。この権利を保障するために**民主主義的政党**ならびに大衆団体にたいし印刷所、用紙、公共建築物、通信手段その他この権利を行使するために**必要な物質的条件を提供**する。

# 党員の生活：赤旗の配達・集金で疲弊している

- 「赤旗」中心活動は「レーニン型前衛党」の組織モデル
- 党という「建物」を建設していくための「工事足場」
  - 党指導部と地方組織・党員・支持者を結ぶ「血管」
  - 配達・集金網＝募金網

## 党中央委員会の政治資金の約7割

しかし⇒すでに日刊紙は赤字で、日曜版で補填している現状

地区事務所⇒新聞販売店の機能

新聞販売店のような配達・集金活動や毎月の読者拡大活動に追われて、本来の政治活動を行うエネルギーが残らない・・・



れいわ新選組に支持率を追い越されかねない事態



# 不破哲三がいかにして蓄財したか



小学校の敷地程度の**広大な敷地**に「**召使**」職員〇名、**専用乗用車**！（すべて党費）

秘密は〇〇〇：

中央役職のない党員⇒  
1記事につき図書カード1000円分1枚

中央委員の幹部⇒ ¥ 〇〇〇〇 / 400字

「〇〇〇〇〇〇〇〇」によると平成10年以降  
毎年「〇〇〇」として

**年間〇〇〇〇万円**

末端の党員がせっせと集金したり、  
収入の1%を寄付したり、  
誠実に購入している代金が  
最高幹部の豪華な生活を支えている



しかも、**党費で雇っている〇〇〇〇〇〇専用の職員**が十数人も！

〇〇〇〇〇〇〇〇のほんとうの仕事⇒不破氏の〇〇の〇〇〇〇〇〇・〇〇〇〇

# 宮本顕治も暴力革命を煽っていた

兵本達吉著「日本共産党の戦後秘史」より

朝鮮半島赤化統一の承認・支援

スターリン  
ソ連共産党

金日成  
朝鮮労働党

毛沢東  
中国共産党

これまでのやり方は手ぬるいから  
暴力革命を指示(51年テーゼ)  
(朝鮮戦争の後方攪乱の意図は隠していた)

主流派「所感派」

徳田球一  
(治安維持法のための政治犯)

野坂参三  
(中国共産党支配地域に亡命)  
(現実に即して、天皇制打破を引っ込めて、  
議会で多数派を目指していた。)

1950年「前衛」4月号  
『『平和的发展』(野坂の方針)を  
提起することは  
根本的な誤り』

蔑まれていた党员  
「国際派」

宮本顕治  
袴田里美  
(治安維持法の他にも刑法  
犯)

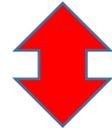
主流派を批判して  
暴力革命を煽った

日本共産党規約前文(2000年第20回党大会で前文は廃止)

「(2) 党は・・・その実践を**総括**して、党の政策と方針を**検証**し、発展させる。」

「50年問題」を真正面から総括したくないから、削除したのか？

真面目に党の指示に従って暴力革命をやった者は、命を懸けた党から見捨てられ、長年の法廷闘争に孤独に苦しみ、人生をまさしく棒に振った。

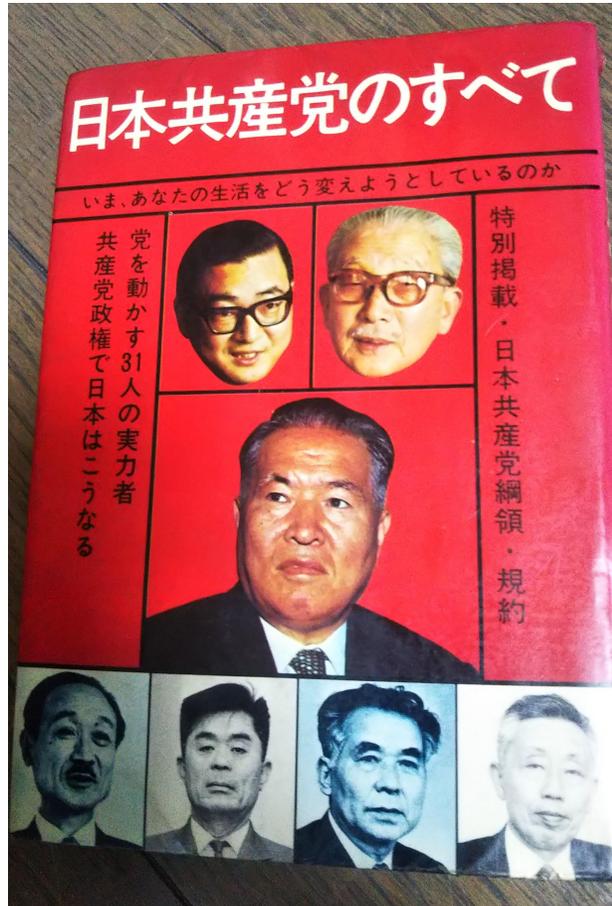


他方、暴力革命を煽った宮本顕治は妻百合子が生きているうちに妻の秘書と同棲し、死後新婚生活を謳歌し、

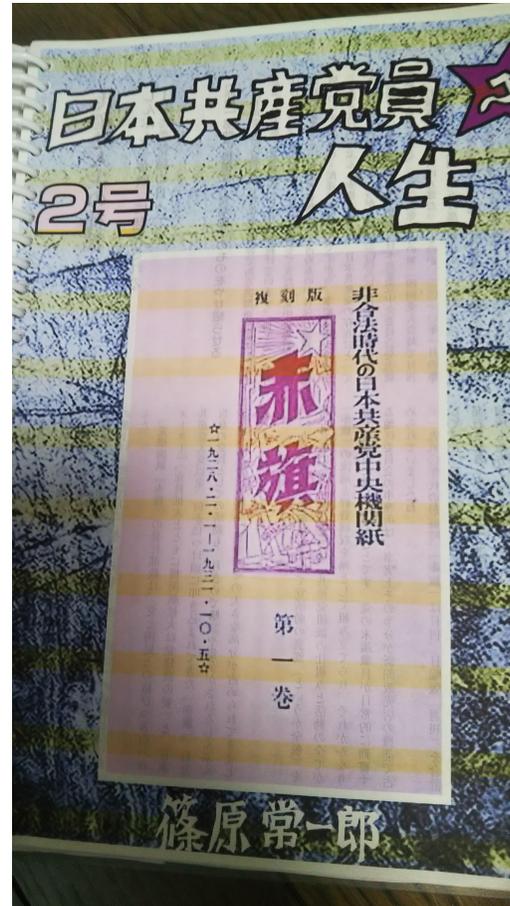
「軍事委員長」だった志田重男は芸者遊びで散財し、行方不明になった。

こんな自分の尻さえ拭けない無責任な指導者たちに  
一度きりの人生を賭けてよいのか？

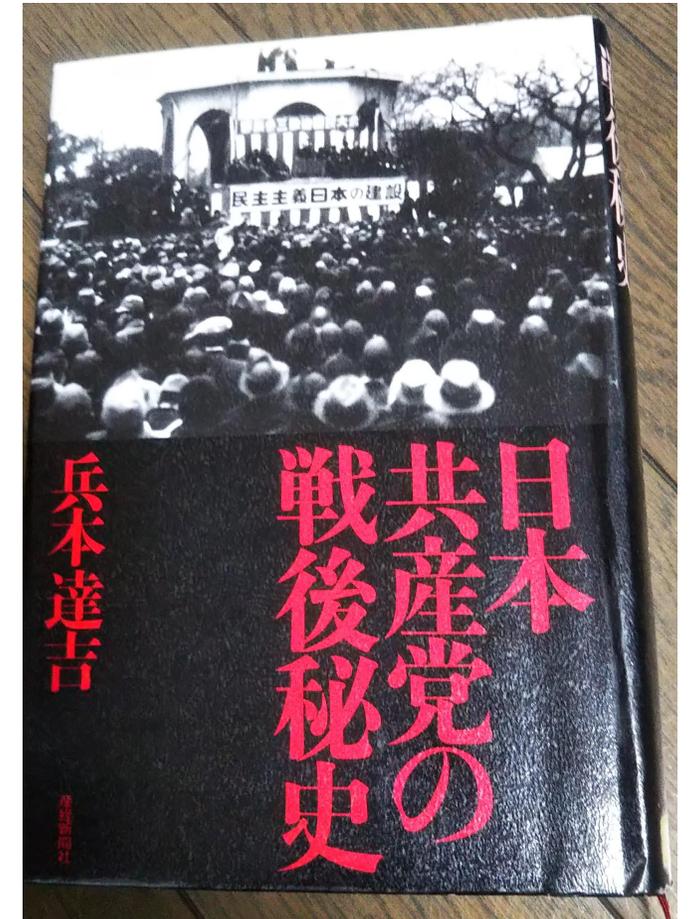
# 参照資料



「日本共産党のすべて」  
サンケイ新聞出版局  
昭和48年(1973年)発行



篠原常一郎会員制サロン  
「インテリジェンスウエポン」内  
「日本共産党員人生」2号他



「日本共産党の戦後秘史」  
兵本達吉著  
平成17年(2005年)発行